

の方は関心が高かったのか多くの研究者から質問やコメントをもらい、苦勞が報われた気がいたしました。海外の人たちとの交流も留学の大きな楽しみの一つと思われます。

NIHのキャンパスはもともとゴルフ場があった跡地でたいへん広いです。癌や免疫などあらゆる生命研究分野を網羅し、雇用研究者だけで2万人を抱える大所帯です。また年4万件を超えるグラントを採用し分配するのも仕事で、毎日のように世界中から有名な研究者が口演に訪れています。首都ワシントンDCからメトロで30分という至便の地にありますが、キャンパス内ではしばしば鹿やウサギ、鴨の親子を見かけるなど、研究にはもってこいのどかな環境にあります。去年はオリンピックと大統領選挙というアメリカ人がいやが応にも熱狂するイベントがあり、当地で間近に接することができたのはよい経験でした。アメリカはナイアガラを別として旅行をして特段面白い国ではありませんが、生活をしてみて独特のお国柄と懐の深さを感じずにはいられません。

最後になりましたが、本留学にあたり助言、御尽力いただいた諸先生方にこの場を借りて改めて感謝を申し上げたいと思います。

平成24年度 SPIO Award

SPIO Awardは、毎年 *Auris Nasus Larynx* (ANL) に掲載された原著論文の中より、優秀原著論文1篇に対し、その著者に賞状と賞金(5,000ドル)を贈呈しています。ただし、筆頭者は45歳以下。また、受賞者には日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において講演の場が与えられます。これは平成13年から始まり今までに10名の受賞者を選出しました。

平成24年度は13篇の中から対象となる3篇を審査した結果、山口大学 中本哲也氏が選ばれました。

Tetsuya Nakamoto: Geranylgeranylacetone suppresses noise-induced expression of proinflammatory cytokines in the cochlea *Auris Nasus Larynx* Vol.39, No.3, 270-274, 2012

平成25年度におきましても多くの優れた論文が日本国内だけでなく海外からもANL誌に寄せられることを期待しています。詳細はホームページ参照 <http://www.spio.or.jp>

過去の受賞者

年度	氏名	所属
平成13	Cheryl R. Billante	Vanderbilt Univ
平成14	菅田 明美	岡山大学
平成15	吉田 晴郎	長崎大学
平成16	肥後 隆三郎	東京大学
平成17	該当者なし	
平成18	都築 秀明	福井大学
平成19	吉崎 智一	金沢大学
平成20	西尾 健志	京都府立医科大学
平成21	佐々木 知	大阪大学
平成22	吉本 世一	国立がんセンター
平成23	谷口 雅信	恵佑会札幌病院

賛助員の募集について

SPIOでは、毎年一口2万円以上ご寄付下さる賛助員を募集しております。なお、納入いただいた賛助費に対しては免税措置が得られます。加入につきましては事務局までお問い合わせください。賛助員加入申込書をお送りします。または申込書をホームページからダウンロードしてご使用ください。

<http://www.spio.or.jp>

賛助費納入のお礼

平成24年度も多くの賛助費を納入頂き、皆様のご理解とご支援に感謝いたします。今後とも引き続きご協力をお願い申し上げます。(325件 764万円)

平成24年度賛助費納入状況

	賛助費納入件数	金額(単位千円)
地方部会	43	1,030
医育機関	65	1,600
教授	87	1,900
准教授	15	300
個人	106	2,430
企業・他	9	380
合計	325	7,640

税制上の優遇措置について

「公益財団法人」はすべてが寄付優遇の対象となる「特定公益増進法人」に該当するため、当財団への個人の寄附及び法人の寄附は従来どおりの「税優遇措置」の対象となります。